

保護者の皆様へ

座間市立西中学校  
校長 牧野 淳志

## 令和4年度 学校評価アンケート結果について(報告)

陽春の候、保護者の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

先日は、今年度学校評価に係る保護者アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。このたび、保護者アンケート及び生徒アンケートの結果をまとめましたのでお知らせいたします。

今後、成果が見られた項目はより一層向上するように、また、課題があった項目は少しでも改善できるよう取り組んでまいりますので、保護者の皆様にも、様々な場面で、是非ご協力いただきたくお願いいたします。

なお、アンケートの結果は、裏面に記載しています。

### I 保護者アンケートの結果より考察

#### 令和4年度の成果(アンケートの結果が特によかった項目)

##### <指導に関する質問>

1 「学校は、あいさつの励行や時間・服装のけじめなど、基本的な生活習慣が身につくよう適切に指導している」の質問について、肯定的回答が94.1%、特に「あてはまる」の回答が48.3%と半数に近い値でした。この項目は、3年間好結果が継続しており、全校として定着してきている様子が伺えます。これは、PTA・地域の方と一緒に実施している『あいさつ運動』をはじめ、生徒会のあいさつ、時間厳守、身だしなみ等への取り組みの成果であると考えられます。

3 「学校は、行事(修学旅行・体育祭・文化祭等)や体験活動を通して、連帯感や達成感を味わわせ、生徒の生きる力を育てよう努めている。」の質問について、肯定的回答が94.7%と95パーセント近くの評価を得ており、「当てはまる」の回答も53.0%と半数以上を占めています。これは、コロナ禍の中でも、生徒の活動の場をできる限り確保しようと、制約が多い中でも工夫しながら行事を行った取り組みと、生徒が行事の意義を理解し、主体的に取り組んだ成果であると思われまます。

##### <学校の対応に関する質問>

4 「学校は、学校だよりや学年・学級だより、ホームページ、メール配信等を活用して、生徒や教育活動の様子を知らせるように努めている。」の質問について、肯定的回答が90.6%と高い評価であり、「当てはまる」の回答も45.5%と高い値でした。これは、今年度から導入されたLINE連絡システムや、各クラスの学級通信、学年だより、西中だより、校長室だより、図書だより、PTA広報紙、ホームページなどなど様々な情報発信が機能してきている成果だと考えられます。今後更なる充実を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

##### <家庭から見る子どもの様子に関する質問>

11 「お子様は、感謝や思いやりの心が高まっている。」の質問には、88.1%が肯定的な回答をしており、90%に満たないものの、ここ2年間高評価を得ています。生徒の回答結果ともリンクしています。

#### 令和4年度の課題(今後重点的に取り組みが必要だと思われる項目)

##### <家庭から見る子どもの様子に関する質問>

8 「お子様は、家庭学習(塾・習い事も含む)に前向きに取り組んでいる。」の質問の肯定的回答率は、69.0%で70%を下回っており、他の質問に比べると低い値でした。生徒の肯定的回答は81.5%で保護者の見方とやや開きがあるものの、今後の課題の一つです。

Chromebookの有効活用を含め、生徒が、主体的に学びに取り組めるよう、小学校や家庭とも連携した取り組みが必要です。

9 「お子様は、物事に自主的に取り組む力が高まっている。」の質問の肯定的回答率は69.3%で70%を下回っており、当てはまらないの回答も6.6%ありました。生徒への質問では肯定的回答が80.0%ですが、これからの教育の中で、自主性を伸ばすことは重要な課題です。来年度、特に意識して取り組んでいきたい項目の一つです。

## II 生徒アンケートの結果より考察

### 令和4年度の成果

#### <生活に関する質問>

2 「挨拶や礼儀正しい言葉遣いができる。」の質問には、92.3%が肯定的な回答をしています。保護者質問1とも関連しますが、生徒の意識の醸成とともに、保護者や地域の方と連携した取り組みの成果が表れていると思われます。実際、生徒の挨拶が良くなったという評価の声をよく耳にするようになりました。しかし、まだまだ改善の余地が多くあります。元気な声で進んであいさつをすることが習慣化し、TPOに応じた適切な言葉遣いができるよう指導していきたいと思えます。

3 「ルールやきまりを守っている。」の質問について、肯定的回答が、97.1%、「当てはまる」は70.2%と大変高い値でした。これは、生徒の規範意識が着実に向上してきてことを顕著に表していると思われます。規範意識の育成は、社会に出るまでに必ず身に付けなければならない重要な事柄であり、今後もしっかり取り組みたいと思えます。また、生徒会を中心とした校則改正への取り組みも行われています。

4 「係・委員会、行事での役割、清掃活動、部活動内での役割など、任されたことに責任を持って取り組んでいる。」の質問について、肯定的回答が、94.3%、「当てはまる」は70.8%と大変高い値でした。本校では、総合的な学習の時間を中心に「キャリア教育」に取り組んできましたが、行事などを通して生きる力を伸ばす取り組みが、責任感の高揚にも繋がったのではないかと考えられます。責任感を持って活動し、それが評価されることで自己有用感が高まります。それが自信を持って主体的に行動できることに繋がっていくと考えられます。

12 「人に感謝する気持ちや思いやりの心が高まっている。」の質問への肯定的回答は、91.1%でした。道徳の授業の振り返りでも「感謝」「思いやり」に関する考えが多く見られます。保護者の評価も高かったように、全体的に思いやりの心が培われていることが伺えます。

15 「他の人の良いところを認めるようにしている。」は今回初めて行った質問ですが、肯定的回答が97.3%、「当てはまる」の回答は73.3%でいずれも全質問中最高の値を示しています。12「感謝・思いやりの心」の質問とも関連して、互いに認め合う意識が高くなっていることが伺えます。

### 令和4年度の課題

#### <生活に関する質問>

6 「社会や地域に貢献したいと思う。(ボランティア・地域の行事や活動への参加、小学校や幼稚園・保育園、老人ホームなどとの連携、募金協力など)」の質問への肯定的回答が76.3%、「当てはまる」の回答は33.8%とやや低めの値でした。コロナ禍で地域の行事が軒並み中止となり、西中学校で活発に行われていたボランティア活動も実施が難しかった影響が大きいと思えますが、地域の中の学校として社会や地域に貢献する意欲は育てていきたいものです。今後、学校運営協議会(コミュニティースクール)との協働活動なども活発に行い、意識の醸成に取り組むたいと思えます。

#### <授業・学習に関する質問>

8 「授業の内容は理解できる。」の質問について、肯定的回答が88.6%と、およそ9割の生徒は授業内容を理解していると回答していますが、1割以上の生徒が授業理解ができていないとの自覚があるようです。今後も、ICTを活用した授業方法の更なる工夫、学び合い活動などによる学習活動の深化、補習等の充実などに取り組んでいきたいと思えます。

10 「考えたことや思っていることをみんなの前で話せる。」の質問に対して、34.0%が否定的な回答をしています。chromebookの利用が進むと、授業中に「書き込む」機会は増加するものの、「話す」機会が減少する恐れもあり、授業や学級活動の中で、自分の意見をしっかりと伝えられるよう取り組む必要があります。ICTを活用して自分の考えを論理的にまとめ、相手に伝わるように表現する能力を高めていきたいと思えます。